

現代文編	教科書 p. 164 ～ 172	組 番	名前	/50
------	------------------------	--------	----	-----

## 一 傍線部の漢字の読みを書け。

- (1) 軽蔑の目で見る。 [ ] 各1点[8]  
 (2) 服の両袖を直す。 [ ]  
 (3) 懸命に説明する。 [ ]  
 (4) 断崖が続く。 [ ]  
 (5) 廊下を静かに歩く。 [ ]  
 (6) 山の麓にある家。 [ ]  
 (7) 湖畔に建つ旅館。 [ ]  
 (8) 路傍に咲く花。 [ ]

## 五 次の熟語の対義語を書け。

- (1) 縦断 ↑↓ [ ] 各2点[4]  
 (2) 鋭角 ↑↓ [ ]

## 六 □に体を表す漢字一字を入れて、後の意味を表す慣用句を作れ。

- (1) □に泥を塗る 各2点[8]  
 (意味) 体面を潰す。  
 (2) □を焼く [ ]  
 (意味) どう扱ってよいのか困る。

## 二 傍線部の片仮名を漢字に直せ。

- (1) ジュンスイな気持ち。 各1点[8]  
 (2) カクゴを決める。 [ ]  
 (3) 岩石がロシユツする。 [ ]  
 (4) 雄大なチヨウボウ。 [ ]  
 (5) チュウシヤク書を読む。 [ ]  
 (6) 恐怖でゼツキヨウする。 [ ]  
 (7) キヨム感を抱く。 [ ]  
 (8) 先生アてに届いた手紙。 [ ]

- (3) □が躍る [ ]  
 (意味) 期待でわくわくする。  
 (4) □も当てられぬ [ ]  
 (意味) あまりにもひどくて見られない。

## 三 傍線部の片仮名を漢字と送り仮名で書け。

各2点[6]

- (1) 海外生活にアコガレル。 [ ]  
 (2) 春風がココロヨイ。 [ ]  
 (3) ハズカシイ出来事。 [ ]

## 七 □に「未」「無」「不」「非」のいずれかを入れて、三字熟語を作れ。

各2点[8]

- (1) □完成 [ ]  
 (2) □衛生 [ ]  
 (3) □暴力 [ ]  
 (4) □感動 [ ]

## 八 次の文の□に入る四字熟語を、後の【語群】の片仮名から一つずつ選んで漢字に直せ。

各2点[4]

- (1) 驚きのあまり□になる。

(意味) 何も分からなくなる事。

[ ]

- (2) □で試験の勉強をする。

(意味) 我を忘れるほど打ち込むこと。

[ ]

## 四 傍線部の漢字と同じ漢字を含むものを、後から

各4点[4]

- 一 つ選べ。  
 (1) ポスターをケイジする。 [ ]  
 ア ケイキの変動。 [ ]  
 イ 作業をケイゾクする。 [ ]  
 ウ 時間がケイカする。 [ ]  
 エ 記事をケイサイする。 [ ]  
 オ 手帳をケイタイする。 [ ]

## 【語群】

ゼツタイゼツメイ ムガムチュウ  
 キシカイセイ ゼンゴフカク